



子ども大学学生新聞

第2号

子ども大学

かわごえ新聞部

「TPPって、なあに？」を学ぶ 今井雅和教授「世界と上手につき合おう」

一月十二日（土曜日）、東京国際大学で、専修大学教授・今井雅和先生の「世界と上手につき合おう」TPPってなあに？」という授業が行われました。参加者は、四年生三十人、五年生三十一人、六年生三十四人、合計九十五人でした。保護者四十九人、兄弟七人が参観しました。



（撮影・中原大知記者）

船が沈没したら…

一時間目の授業では、まず初めに、ジョーク（冗談）じょうだん）で学ぶ国際ビジネスということ、ある絵を見せてくれました。沈没（ちんぼつ）しそうな船から、世界各国の人が海に飛びこもうとしている絵です。

この絵は、一人が海に飛び込んでくれば、他の全員が助かるというとき、世界各国の人は、どのような声をかければ飛びこんでくれるかを表しています。

アメリカ人は「ヒーローになれる」、イギリス人は「紳士（しんし）になれる」、フランス人は「飛び込んだりやダメ」、イタリア人は、「女の子にモテるよ」。そして日本人は「みんなが飛び込んでいる」というと、飛



びとというような国民性をジョークで教えてくれました。

その国の人たちの性格を示すジョーク（冗談）です。ただ、先生は「本当に飛び込むかは、わからないよ」と、笑いながら、おっしゃっていました。

組織とは、市場とは

そのつぎに、組織（そしき）についての説明がありました。組織とは、目的のために協力し合う人たちのことです。組織は、みんなの強みを足し合わせて大きな力にするためにあります。

また、市場（しじょう）の話もありました。市場はルールがあり、売ったり買ったりできないものもあります。危険な面もありますが、い

いことはたくさんあるそうです。

日本はTPPに入るの？

二時間目は、TPPについての説明がありました。TPPとは、環太平洋経済連携協定（かんたいへいようけいざいれんけいきょうてい）といい、太平洋に面（めん）している国（日本、アメリカ、チリ、カナダ、オーストラリア、ロシア、中国など）が、もともと貿易（ぼうえき）やビジネスをしやすくしようという約束のことです。しかし、日本は協定に入るか入らないかの話し合いに参加していないそうです。

自分の国の産業を守る

貿易とは（国と国の）会社どうしが売り買いすることです。貿易の例として、オレンジとみかんの話が出ました。アメリカから輸入（ゆにゅう）された二十円のオレンジと、日本の五十円のみかんがあったとき、みんながオレンジを買ってしまつたら、みかんを作っている農家は困るし、日本から、みかんがなくなってしまうかもしれません。そうならないために、関税（かんぜい）をか

けたり、輸入制限（ゆにゆうせいげん）をしていると教わりました。

今井先生は最後に「どの政府も、自分の国、産業、そして国民が一番大事。（ほかの国がどうなってもよいわけではないが…）自分の国にとって大切な産業は守りたい。しかし、自由な貿易は自分の国にとってもいいことが多い。そして、日本にかぎらず、国を開いてこそ、発展がある」と話してくれました。

今回の授業では、TPPのことが分かりやすく理解できたと思います。（森千賀子記者 浦和別所小学校六年）

TPPに賛成？ 反対？

記者の意見

あなたはTPPに賛成ですか、反対ですか。授業を聞いた記者が意見を書きました。

【賛成】私はTPP参加に賛成である。なぜなら日本の食べ物、今もこれからも、日本の産業を支えていく上で重要だと思うからだ。

でも、反対する人の「日本の物が売れなくなる」といった意見もある。たしかに、いま日本は食物じきゅう

率（国産品を日本で消費すること）が良いとは言えないし、日本の農業はこれからも大切である。

しかし、今のじょうきょうから脱きやくするには、自由貿易が必要だと私は考える。

これからの大事な日本の産業、経済、



そして農業。これをいかに守っていくかが最優先である。（中原大知記者 大塚小学校六年）

【反対】わたしはTPPに反対です。理由は、この国のものが、うれしくなってしまうからです。（土田真由香記者 山田小学校五年）

【賛成】ぼくはTPPにさんせいします。りゆうはTPPにさんかすれば、国と国とが結ばれるからです。

（長坂星名記者 高階北小学校五年）

【反対】私はTPPに反対です。理由は、オレンジとみかんの話のように、外国と貿易をすることで、安いものが日本に入ってきて、日本の安全なものがなくなってしまうのは困るからです。（森千賀子記者）

先生インタビュー

ちゃんと授業をうけていて、すごい！

授業をした今井雅和先生にインタビューしました。

先生（子どもたちは）ちゃんとじゆぎょうをうけていて、すごい！！

（土田真由香記者）

記者 尊敬する人は誰ですか。

先生 ウーム：とくにいないっていうか、自分以外の全員が先生かな。

記者 子ども大学の印象は？

先生 とても良い印象で、一人一人が良くしようとして一つの組織のようでした。（長坂星名記者）

授業の感想

◇新部有菜（にべゆうな）さん 高階小学校6年生「少し難しかったけどTPPのことがすこし分かりました。」（小島未来記者 福原小学校四年）

◇稲葉未紗さん（いなばみさ）さん 正証（まさのり）君 霞ヶ関小学校「みんなちがうからいいというのが、わかりました。」「みかんとオレンジの話が具体的にわかりやすかった。」（土田真由香記者）

◇森田真生（もりたまみ）さん 高階小学校6年生「むずかしかったけど、楽しかった。」（土田真由香記者）
◇田澤和音（たざわかずと）君 中央小学校5年生「思ったこと↓何でもすぐ理解しているのか。考えたこと↓本当にTPPに参加しているのか。」（斉藤和泉記者 大塚小学校5年生）

「訂正 創世でミスがありましたので、おわびして訂正します。浦和別所小学校、浦和別所小学校、斉藤和美記者、斉藤和泉記者、石川朱里記者 ↓石川珠里記者